

旭市公共下水道事業及び旭市農業集落排水事業経営戦略（素案）への 意見等に対する市の回答

【会議名】 旭市下水道事業運営協議会

【開催日】 令和7年7月28日（月）

【その他】 パブリックコメントの実施

（期間） 令和7年8月1日（金）～14日（木）

（意見） 提出された意見なし

No.	意 見	回 答
1	人口減少、面整備を停止している現状、類似団体と比較しても経費回収率が低い等の理由もあり、使用料改定をしなくてはいけないという解釈をしている。 水道も同様に改定を予定しているのか。	今回3事業とも同様で、計画の中では、下水道・農集が令和9年度、水道が令和12年度に予定しています。
2	パブリックコメントの周知はどのように行うのか。 個人から資料の提供を求められた場合はどう対応するのか。	ホームページ及び広報により周知し、上下水道課以外に、各出張所にも資料を置き閲覧できるようにします。 個々への提供はせず、閲覧での対応となります。
3	いきなり30%の値上げとなると、パーセンテージが大きく、市民に受入れられないのではないかという思いがある。	将来世代の負担が大きくなるよう設定した改定率となっています。実際の改定にあたっては、再度試算・協議して決定するため、その中で平準化の検討も進めていきたいと考えます。 直近で改定した銚子市では、こういう会議を6回程開催し決定しているので、旭市でも慎重に進めていくことを見込みます。
4	当初計画時の経営の基本として、使用料で賄うことを前提としていたのか。 または、ある程度税金などの導入を前提としていたのか。	当時の経済状況として、収入面で右肩上がりの想定、補助なども前提とした計画であったと思われます。
5	公共事業なので、一般会計からの繰入金があっても仕方がないと思うが、使用料収入の約4倍もの繰入金がないと賄えないとなると根本的な見直しが必要なのではないかと考える。 面整備を行い使用者の増加を図ることも検討したほうがよいのではないかと。	未接続の方に対しては、訪問にて加入促進を図っています。 また今後の策として、民間活用や広域化などの取り組みの中で取捨選択し、経営改善を図れるよう模索しているところです。

6	経費回収率の目標を達成した際に、一般会計からの繰入金は、どの程度下がるのか。	計画の中で 10 年後、6,000 万円程減少する見込みとなっています。
7	一部の下水道利用者のために、多額の税金を導入しなければ運営が成り立たないとなると、使用していない市民は納得できないのではないか。	法令順守、条例をもって、下水道事業を限りなく継続させ、効率的に運営していくのが市の使命、目的としております。
8	以前、接続者に補助金があったと思うが、補助率はどの程度であったか。	供用開始 3 年以内に行う改造工事に対し交付する補助金で、供用開始後 1 年以内が 40,000 円、1 年超 2 年以内が 30,000 円、2 年超 3 年以内が 20,000 円になります。 (詳細説明できず次回の回答とした質疑)
9	今回初めて一般会計からの繰入金が多額であることを知った。 市民の方に対しても、繰入金が多額であることがわかりやすく示されれば、使用料改定についても、理解が得られるのではないかと思う。	定期的に会計の状況をホームページに掲載していますが、今後よりわかりやすく提示できるように努めます。 またネガティブなものも出したほうがよいと、内部でも意見が出ており、そういった面も広報等させていただきます。
10	公共性の高い事業であり、一般会計の繰入金が出せる状態であれば、そのままあってもよいと思う。現時点で破綻してしまう状態でないのであれば、ぎりぎりまで繰入金をもらい、他の部分でも努力をすれば、市民も使用料改定について納得してくれるのではないか。	下水道の使用料改定に踏み込むのは、創設以来初めてであり、一番大事な局面にきています。 今回の経営戦略は、破綻に向けた計画ではなく、健全な経営を持続させていくことを目指した計画ですので、ご理解をいただきたいところであります。